

審議会等会議録

審議会等の名称	第5回多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議
開催日時	令和4年1月18日(火曜日)10:30~11:30
開催場所	セントコア山口 2階 サファイア
公開・部分公開の区分	公開
出席者	山口県立大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 廣田智子 山口商工会議所 専務理事 大田正之 一般財団法人山口観光コンベンション協会 事務局長 田中光敏 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 村橋克則 山口大学大学院創成科学研究科 教授 鷗心治 (5名・敬称略)
欠席者	なし
事務局	総合政策部 中川総合政策部長、山田総合政策部次長 スマートシティ推進室 宮原室長 他5名 光井純アンドアソシエーツ大建設計共同体 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所 光井純代表取締役 同社西日本岩国オフィス 原一樹所長 株式会社大建設計 広島事務所 沖中資康設計室長 オブザーバー 都市整備部 清水次長 都市整備部建築課 山本課長
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1)(仮称)湯田温泉パークについて ・前回専門会議の意見整理等 ・基本設計概要版(案) (2) 意見交換 4 基本設計完成までのスケジュール 5 閉会
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 1 開会 (省略) 2 会長あいさつ 【鷗会長】本会議も今回で第5回目ということで、想定では今日が最後ということになっ

ております。前回の会議では、施設配置を基本とした基本設計の概要版について議論をしてまいりました。今日は最終版の建築のパスであるとか、模型であるとか、そういったところも準備していただいております、この基本設計の概要版について、皆さんと議論してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。今回も、基本設計業務の受託業者でございます「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」から3名の方に、また、山口市の方からは都市整備部の清水次長、建築課の山本課長にも出席をいただいております。また、事務局であるスマートシティ推進室も含めて議事を進めてまいりたいと思いますので、どうぞ御協力、よろしくお願いいたします。

3 議事

【鷗会長】それでは次第に従いまして、議事に入りたいと思います。

まず、「(1)(仮称)湯田温泉パークについて」、「前回専門会議の意見整理等」と「基本設計概要版(案)」につきまして、事務局、説明をお願いできますでしょうか。

(1)(仮称)湯田温泉パークについて

【事務局】資料1～2について説明

(2)意見交換

【鷗会長】ありがとうございました。非常に分かりやすいムービーを提示していただきましたけれども、皆さんから御意見とか御質問ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。1点確認ですが、もちまきテラスのところ、前回私が質問させていただいた件については、実施設計で対応していくということよろしいでしょうか。もちまきテラスとうしろの外部空間との関係と、上下階との関係をどういう風にまとめていくか、という質問を前回したと思います。実施設計で対応していただけるということですが、今、どういう考えであるか、もしあれば教えていただきたいと思います。

【事務局(設計)】下のスペースが、豊スペースの休憩できるような空間になっています。こちらの部分は少し2階の部分の床を抜きまして、例えば、休憩スペースから直接2階のデッキに上れるような螺旋階段のようなものを設置したり、下の雰囲気は上階でも感じられるような、そんな工夫を今後、検討していきたいと思っております。

【鷗会長】ぜひ、御検討いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。その他にいかがでしょうか。

【A委員】18ページに1,000人規模のイベントが出来るというイメージ図がありますが、出来るだけ、イベントを開催する利用者に対して負担をかけないといいますが、例えば椅子とか備品の貯蔵の倉庫といったスペースも必要かと思えます。地域としては出来るだけ様々なイベントを誘致するに当たって、利用される方に負担をかけたくない、スム

ーズな誘致につなげたいという希望がありますので、その辺の椅子の収蔵といいますか、そういったものを御検討いただけないかなと思います。

【事務局】イベント開催時の主催者の費用負担を抑えることが様々なイベント開催につながるのではないかと考えています。今、検討している中で、例えば、大階段の下のスペースを倉庫にするとか、外の階段の下を倉庫にするとか、様々な収納スペースというのも検討を進めています。同時にどのぐらいまで、椅子とか、備品などを施設の方であらかじめ準備しておくのかなど、今後の事業費の積算の中で、しっかりと検討していきたいと思っています。

【鶴会長】その他、ございますでしょうか。

私から、よろしいですか。2点ありまして、1点目は13ページです。これは、どういう扱いになるかの確認ですが、南側から上がって行って、温浴施設の方に向かう行き止まり道路があります。その横に黒いエントランスのマーク(▲)が書いてあります。これはたぶん、いろいろな意味を持つと思います。車で直接、ここへ付けたいからとか。その時に、車を転回する配慮がいらないでしょうか。行き止まり道路なので、転回が必要になりますが、その辺をイメージされているかという確認です。

【事務局(設計)】軌跡は書いておりまして、右側に突っ込んで、切り返すことは出来るような空間になっています。

【鶴会長】もし可能であれば、1台分ぐらいの駐車スペースの枠をとっておくとか、何か図面に表現しておくとか分かりやすいかもしれません。それが1点。もう1点は前回の意見でも出ましたが、先ほどのムービーを見ると、特に2階のデッキの色々な使われ方といいますか、この施設の使われ方がすごく多様です。それを、担保していくためのマネジメントの体制とか、あれだけの賑わいが常にあるかどうかは別として、今後、持続可能に展開していくための仕組みみたいなものを、前回から施設運営者の選定というところが出ていますけれども、持続可能にやっていくだけの仕組みをいち早く考えていくということも必要だと思います。その辺も現段階でお考えであれば、事務局から教えていただきたいなと思います。

【事務局】施設運営に向けた仕掛けづくりという点につきましては、次なる段階の実施設設計と並行するなかたちで、指定管理といいますか、施設運営者となりうるような事業主体の方々に、いわゆるサウンディングといった形で広く様々な御意見を伺うようなかたちで、アイデアは募っていきたくと思っています。その後、令和5年度に入りまして、具体的な指定管理の選定などの作業が始まってまいりますので、来年度、令和4年度にそうしたソフト事業を中心とした取組をしっかりと検討していきたいと思っています。

【鶴会長】ありがとうございます。基本設計の中でも、「湯田温泉パーク」を中心とした各種団体が、21ページに図がありますが、描くのは簡単です。「湯田温泉パーク」の周りの、各主体が、黒い線がどういうことで成立するのかということは非常に難しいし、持続させていくことは大変なので、ここをやっぱり、しっかり議論していく必要があるのかなと思います。特に地域の自治会や、地域の各所に既にある組織とかコミュニティ団体とか、そういった方々との話し合いを常にしながら、この施設をみんなで発展させていく、そういうアプローチを考えていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。皆さんの方からいかがでしょうか。

【B委員】今、会長のほうからありました運営というところを、私も気にかけていまして、例えば、利用料というのはどういうイメージでしょうか。

【事務局】はい。まさに公園と同じような利用料金の設定を現在、予定しておりまして、占有して全く使えないような状況の時には、利用料金・使用料金を取る。普段は、公園のように、誰もが利用していい。といったような料金形態を現在、検討しています。

【B委員】温浴施設も無料ですか。

【事務局】失礼しました。温浴施設につきましては利用料金を想定しておりまして、ページでいいますと11ページです。②の赤文字で「温浴・健康機能：約560㎡」と書いてあります項目の一番下に「利用料金は原則500円としますが、子どもは無料」と示しています。このほか、外出促進につながるように、例えばですけれど、70歳以上の方の入浴料金を割引きにするようなかたちも今、検討しています。

【B委員】分かりました、ありがとうございます。おそらく、施設の運営をどこにさせるかという視点として、この施設だけの管理をするのか、湯田温泉全体の繁栄ということで裾を広げた組織にするのかで、大きく違います。要は今の利用料だとかをとって、収益を上げていくだけの組織にするのか、全体を通して、全体最適の視点、個別最適の視点でおそらくジレンマに陥ると思うのですが、その辺で組織づくりの工夫が必要かなと思います、その意味で今、お伺いしました。なので、集客装置としておくのか、それとも、集金装置としておくのかみたいなことは、視点として入れておいていただけるとありがたいなと思いました。

【鶴会長】ありがとうございました。非常に貴重な御指摘だと思います。何かコメントございますでしょうか。

【事務局】人の賑わいですとか、市民の交流ということも含めて、公の施設ですので、収支というよりもむしろ、地域活性化効果のほうにしっかり軸足を置いて、今後、検討し

ていきたいなと思います。

【A委員】先ほど、会長がおっしゃった23ページの図の関係ですが、例えば、色々な団体の連携の図がございませけれども、その中で地域として他に無い研究所といいますか、例えば、湯田温泉の効能のことであるとか、前回もちょっと話が出ておりますけれども、カピバラを飼って肌の状況といったものを研究するとか、そういったものも面白いのではないかという意見があるということは申し上げておきたいと思います。それからもう1点、浴槽に関して、旅館組合の方に話を聞いてみますと、「車いすのまま、浴槽に入れるのは非常にありがたい」と、大変喜んでおられます。こういった機能をもっと充実させていただきたいです。車いすに限らず、最近では発達障害の子どもたちが温泉に入っ、他の人に迷惑をかけるといった部分もあるので、地域としてはそういった家族湯的なものを出来ればもうひとつ増やしてほしいという希望があるということをお伝えしておきたいと思います。

【事務局】1点目、ページでいいますと16ページを御覧いただければと思っております。16ページには「施設の特徴」ということで、図面にそれぞれの特徴について載せています。湯田温泉ならではの、湯田温泉しかないもの「(スリッパ)卓球」なんかを事例に出し、配置しています。平面図の左側に「温泉文化体験スペース」があります。従来、「文化体験スペース」ということで、非常に捉え方が広いような表現をしておりましたが、「温泉」という文字を加え、しっかりと湯田温泉ならではの情報発信ですとか、歴史なんかをこちらのスペースを活用しながら、しっかりと伝えていきたいという考えとともに、右上にございます「多目的スペース」では、ヘルスラボの展開、地元のいろいろな団体さんなんかも健康づくりの活動を盛んにされておりますので、そうした活動を出来るようなかたちも現在、検討しております。そして、2点目の温浴施設につきましては、バリアフリーの観点、そして一方では湯田温泉の湯量を圧迫することが無いようなバランスをとりながら、総合的に実施設計段階において、適切な浴槽面積についてしっかり考えていきたいと思っております。

【鶴会長】模型も見ながら意見交換をしたいと思います。事務局から追加で補足の説明があったら、是非お願いしたいと思います。

【事務局(設計)】簡単な概要を説明します。(模型を用いて説明。)こちら側が入口ゾーンです。それから温浴施設がございまして、それから関連施設のほうにつながっていく構成になります。駐車場はL字型の構成になっています。この屋根は、ふたつに分かれた屋根が重なった感じで、ちょうど握手をしているような構成にしております。この間に隙間がございまして、先ほど御説明申し上げましたように、ここから自然換気を行なおうということで、風が流れる屋根を作ろうと思っております。この下は、先ほど御紹介がありました大屋根の下のアリーナスペースということになっておりまして、子どもたちが日常

的には公園のように遊んでいる、それから、サブコンベンションとして使う時は椅子、あるいはテーブルを並べてお使いいただくということになります。2階部分がデッキになっております。ここは回遊性を非常に大事にしております、ぐるりと回って、いろいろな場所でいろいろな活動があるということを大事にしています。そして、こちらのほうに来ますと、上から子どもたちが遊んでいる様子が見える。そしてまた、この軒のところに沿って足湯施設がございますので、そこに座りながら親御さんたちが子どもの遊んでいる様子を見て取れるということで、いろいろなアクティビティを、回遊性のある動線によってぐるりと囲い込んでいるような、そんなイメージで作っております。現在は遊具と、それから大階段をとりあえず並べただけになっているのですが、実施設計の段階ではもっと一体的に造ることによって、いろいろな遊び方が出来るものにしようと思っております。大きくはそういったことが概要でございます。

それから先ほど、会長のほうから御指摘がございましたように、上と下の関係を大事にしようということがございました。もちまきテラスも下が畳の部屋になっておりますので、吹き抜けを作ったり。それから今、ガラスの位置がちょうど内側のところで決まっていますが、もしかすると多少、アリーナの空間の上に通路的なもの、あるいは溜まりの空間を作って、上からも見下ろせるといったことをこれから前向きに検討していきたいと思っております。

【B委員】縮尺は正しいですね。

【事務局(設計)】全部、正しいスケールです。

【B委員】想像以上のインパクトですね、大きさに。前面道路から北側への人の流れはあると思いますが、逆(北側)からは行きづらいかかと、ちょっと思いました。

【鶴会長】北側に地域交流施設があるので、そちらから来る方もおられると思いますし、あと、交流センターの隣に健康関係の施設もありますので、車では来れませんが、人の流れはあると思います。

【事務局(設計)】普段、大屋根広場の開口部は開けっ放しになっています。寒い時は別ですが、先ほど、市のほうから御指摘ございましたように、公園のような空間として使えますので、交流施設に来られた方もこちらの方に抜けて、さらに温泉の方に抜けていくというような人の流れが生まれると考えています。

【B委員】そういう意味では、背丈的にはそんなに圧迫感が無いですし、良いかもしれないですね。

【鶴会長】何か、他にございませんか。2階のフロア部分がほぼ外部空間、1階はほぼ内

部空間で、その上手い融合が行われると、非常に面白くなるし、いつの間にか下に降りている、いつの間にか上に上がっている、いつの間にか外へ出ている、いつの間にか中に入っているという、そんな面白さが空間の面白さかなと思っています。ぜひ、その辺をもう一捻りお願いしたいと思います。

【事務局(設計)】頑張りたいと思います。

【鶴会長】よろしければ席に戻りましょう。

大体、意見交換や質問が終わりましたが、皆さん、よろしいでしょうか。それでは、第5回専門会議の協議はこのあたりで終わらせていただきたいと思います。後ほど、事務局から今後のスケジュールの説明があるとは思いますが、今後、関係者や市議会、その他、パブリックコメント等を通して、基本設計が最終形を迎えるということになるようでございます。また後ほど、これにつきましては事務局から説明をしていただきたいと思っております。

4 基本設計完成までのスケジュール

【鶴会長】それでは次に移ります。「4 基本設計完成までのスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】それでは、資料3を御覧いただければと思います。A4・横長の1枚紙の資料です。こちらは基本設計完成までのスケジュールです。本施設整備の専門会議につきましては、昨年3月の第1回から今回の第5回まで、約1年近くにわたりまして御議論をいただきました。この御議論を踏まえまして、緑色の矢印にございますように、「基本設計【概要版】(案)」の最終調整を今後させていただきますと、概算事業費の積算を進めてまいりたいと考えております。2月の中旬頃、「基本設計【概要版】(案)」を市議会に対して説明いたすと同時に、市民の皆様へはパブリックコメントの開始というかたちでお示しさせていただけたらと思っております。そして、いただいた御意見につきまして、必要な検討を行いましたのちに、3月中旬頃には基本設計の完成を予定しているところでございます。

スケジュールにつきましては以上でございます。

【鶴会長】皆様から、この件につきまして御質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、今後のスケジュールについてはこの通りに進めていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

今日、予定の議事は以上でございますので、この度の専門会議は、これにて終了させていただきます。皆さん、全5回を通して御協力賜わりまして、コロナの中で、色々と議論にくいところ、精力的に御意見を賜りましたこと、改めてお礼申し上げたいと思っております。来年度に実施設計、令和6年度に供用開始という予定で進めていただくと

	<p>いうことになっておりますけれども、基本構想から専門会議まで、ずっと私も案を出して参りまして、ひとまず一区切りといったところで、非常にうれしく思っております。ぜひ、早く完成が見たいというところもありますけれども、今日の意見も踏まえて、事務局、何卒よろしく進めていただきたいなと思います。改めまして御礼申し上げます それでは、事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>5 閉会</p> <p>【事務局】皆様、どうもありがとうございました。5回の間、いろいろと御意見等賜りまして、ありがとうございました。それでは最後に、総合政策部長の中川から、皆様に御挨拶を申し上げます。</p> <p>【中川部長】本日の第5回専門会議をもちまして、基本設計段階における専門会議は終了となります。委員の皆様におかれましては御多用の中、これまで本専門会議に御出席いただき、貴重な意見等をいただき、誠にありがとうございました。本市といたしましては引き続き、本施設や周辺整備を進め、まちの価値を高め、魅力的な都市空間を形成し、住んで良かった、住んでみたいと思っただけの豊かな暮らしと交流、定住促進のまちづくりに取り組んでまいります。委員の皆様におかれましては引き続き、様々なかたちで御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、「第5回多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議」を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>会議資料</p>	<p>次第</p> <p>資料1 前回専門会議の意見整理</p> <p>資料2 (仮称)湯田温泉パーク基本設計【概要版】(案)</p> <p>資料3 基本設計完成までのスケジュール</p> <p>資料4 委員名簿</p> <p>資料5 配席図</p> <p>資料6 「多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議設置要綱」</p>